

オンライン講座 世界遺産を旅する科

テーマ : オリエンテーション・世界遺産とは・日本の自然遺産

日時 : 2022年 4月 15日

講師 : 中村 大輔 先生

当日出席受講生: 16名 (在籍18名) 再視聴あり

世界遺産アカデミー認定講師 中村大輔先生による「世界遺産を旅する科」第1回目の講義が始まりました。Zoom によるオンライン講座ですので、練習会を何度も致しましたが、入室時・退出時少々のもたつきや、ネット環境が悪く途中で切れてしまったりした方がおられました。スタッフの協力のもと講義を進めることが出来、終了後に再視聴ビデオを発信いたしました。再視聴回数の多さに驚きました。



「本講座の目標」

- ① 世界遺産学習への導入 世界遺産の制度、各遺産の概要、課題等
- ② 世界遺産を通じた視野の拡大 歴史や地理など周辺分野への橋渡し
- ③ 人生を豊かにするヒントを得る 知見が広がることで見えなかった世界に視野が届き、思考が巡る楽しさ。得た知見は旅行にも還元される。

「世界遺産とは」

世界遺産は『顕著な普遍的価値を持つ人類共通の財産』であり、ユネスコ三大遺産事業のうちの一つ。

・世界遺産・無形文化遺産・世界の記憶(記憶遺産)

世界遺産は有形の不動産である。絵画や書物などは”世界の記憶(記憶遺産)”・儀式や祭礼などは”無形文化遺産”の枠組みで保護されている。

「世界遺産に関する言葉」

世界遺産は文化的景観・文化遺産・自然遺産と双方の価値を併せ持つ複合遺産、紛争や破壊等の理由で遺産価値喪失の危機にある危機遺産、戦争や人種差別、奴隷制度など歴史上の人類の過ちを留める負の遺産、ある時代においてその地域に寝付いていた産業の姿を伝える産業遺産

「世界遺産の登録基準」

価値判断として 10 個の登録基準(i)~(x)が設定されている。世界遺産の登録に当たっては顕著な普遍的価値を有すること。主にオリジナリティの継承に焦点を当てた真正性(真実性)、遺産の適切な大きさや保護体制など遺産価値発揮の体制に焦点を当てた完全性が求められ、登録基準を最低1つクリアすること。

当てはまる基準によって「文化遺産」・「自然遺産」・「複合遺産」の3区分

「日本の自然遺産」登録は5つ

- 知床 登録基準:(ix)生態系、(x)生物多様性
- 白神山地 登録基準:(ix)生態系
- 屋久島 登録基準:(vii)地球生成の歴史、(ix)生態系
- 小笠原諸島 登録基準:(ix)生態系
- 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 登録基準:(x)生物多様性